

平成30年度事業報告書

(自 平成30年4月1日)
(至 平成31年3月31日)

一般社団法人 日本アルミニウム合金協会

平成30年度 事業報告書

(自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)

平成30年度の日本経済は、輸出はおおむね横ばいとなっているものの、企業収益が過去最高を記録する中で設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが続くなど、経済の好循環は着実に回りつつあり、昨年夏に相次いだ自然災害により個人消費や輸出を中心に経済は一時的に押し下げられましたが、緩やかな回復が続いております。

この様な経済環境の中で、アルミニウム産業界におきましては、自動車向けを主力とする鋳造品、ダイカスト品需要が増加する一方で、ビール類の減少やペットボトルコーヒーの伸長による缶材等圧延品需要の減少により、アルミニウム製品総需要は概ね前年並みとなりましたが、5年連続で400万トン台を維持することとなりました。

当アルミニウム合金業界におきましては、好調な自動車等の輸出産業に支えられ、平成30年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要は前年度比2.1%増の約170万トンとなりました。

この様な情勢のもとで、当協会と致しましては、経済・環境問題等の変化に対応する施策、情報の収集・早期伝達並びに技術の向上に努めて参りました。

平成30年度における事業活動の概要、会員の異動状況及び会議の開催状況は、次のとおりであります。

1. 事業活動の概要

1.1 統計調査事業(公益目的事業1)

(1) 統計調査事業

会員会社、関係機関等の協力を得て、アルミニウム合金事業に関する産業動向を把握するため、以下の調査を行い、原則として月毎に統計資料としてとりまとめ、当協会ホームページ上で発表するとともに、会員会社、プレス、関係機関に情報提供を行いました。

- ① アルミニウム二次合金地金・同二次地金の生産、出荷及び原料消費等
- ② アルミニウム地金、アルミニウム合金地金、アルミニウムくず及び金属珪素輸入通関実績及びアルミニウムくず港別輸出通関実績
- ③ 国内アルミニウム二次合金地金・同二次地金及び鋳物・ダイカスト用アルミニウム合金地金(一次合金)需要
- ④ 当業界に関連のある統計資料

(2) 需要見通し策定事業

平成31年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金及び鋳物・ダイカスト用アルミニウム合金地金(一次合金)需要見通しを策定し、会員会社、プレス、関係機関に配布するとともに、当協会ホームページ上にも掲載致しました。

(3) 海外の関連機関との情報・資料交換事業

毎月、EAA(欧州アルミニウム協会)及び中国有色金属工業協会再生金属分会と日本、欧州、中国におけるアルミニウム二次合金地金・同二次地金の生産、原料状況等の情報交換を行い、欧州における統計資料を当協会電子版機関誌「J.A.R.A.ニュース」に掲載致しました。

1.2 技術研究調査事業(公益目的事業2)

1.2.1 技術研究調査事業

(1) 規格・基準等の研究調査

当業界に関連のある海外規格について調査・検討を行いました。

(2) ダイオキシン類等の環境対策に関する研究調査

- ① 平成29年における当業界(アルミニウム第二次精錬・精製施設)のダイオキシン類排出インベントリーのフォローアップを行いました。
- ② 環境省が実施するHCB、PCB、PeCB及びPCNの排出実態調査に協力するとともに、環境省主催の「非意図的生成のPOPs 排出抑制対策検討会」に出席し、情報収集に努めました。

(3) 省エネルギーに関する研究調査

エネルギー消費状況等のアンケート調査(4回)を行い、調査結果を会員会社等へ配布するなどして業界におけるエネルギー消費原単位の低減化に努めました。

(4) (一社)日本ダイカスト協会との共同研究調査

本共同研究では、一段の高延性が得られる非熱処理型合金として近年欧州ダイカスト市場で積極的に活用されてきているAl-Mg系合金をとりあげて、その使いこなし技術、製造技術について研究を行ってまいりました。その結果、十分なフラックス処理と溶湯品質の確認が必要となるものの、目標とすべき機械的性質を持つ合金が見出されました。

平成30年度は、上記合金を用いて、実際に使用された製品と同等の形状での実機実験等を行い、今後の実用化に向けた諸問題の検討を行いました。

(5) 最新技術に関する研究調査

下記のとおり、技術委員会にて見学会を実施し、知見を深めました。

【見学会】

見学場所 西日本オートリサイクル及びKARS

1.2.2 技術書出版事業

(一社)日本ダイカスト協会との共同研究の成果をとりまとめた報告書を、会員会社等へ頒布致しました。

1.2.3 標準試料作製・頒布事業

- ① これまでに作製した下記分析用標準試料を会員会社等へ頒布致しました。

平成26年度作製試料 AD12-B (Cd 30ppm、Ca 20ppm入り)

② 新たに下記分析用標準試料を作成しました。

平成30年度作製試料 AD12-C (Cd 30ppm、Ca 50ppm入り)

1.3 普及啓発事業(公益目的事業3)

1.3.1 技術検定事業

当協会三級溶解技能者認定試験を次のとおり実施し、合格者106名を三級溶解技能者として認定いたしました。

講習会及び試験会場	通信教育	講習会及び試験日	応募者数	合格者数
東京	平成30年11月、12月及び平成31年1月	平成31年2月3日	31名	22名
名古屋	同上	平成31年2月10日	47名	45名
大阪	同上	平成31年2月17日	29名	15名
福岡	同上	平成31年2月24日	24名	24名
			131名	106名

1.3.2 作業安全・衛生に関する研究調査事業

当業界における「労働災害20事例」を編集し、会員会社等へ配布するなどして業界の労働災害の減少に努めました。

1.3.3 広報事業

(1) 当協会ホームページ

多くの方にご利用頂くため、より多くの情報を発信し、見やすさと快適さ、情報の充実に努めました。

(2) 電子版機関誌「J. A. R. A. ニュース」

電子版機関誌「J. A. R. A. ニュース」を当協会ホームページ上に毎月掲載致しました。

(3) プレスリリース

毎月の生産実績等の統計資料及びプレスリリースを随時作成し、配信致しま

した。

- (4) 非鉄金属7団体で構成する「非鉄金属ネットワーク協議会」(略称：ネット7)
非鉄金属の魅力を知ってもらうためのサイト「メタルワンダーアベニュー」に、
当業界で活躍する「先輩の声」や学生を対象とした「工場見学情報」を引き続き掲
載致しました。

1.4 一般事業

1.4.1 顕彰事業

(1) 高橋記念賞

アルミニウム合金地金・同二次地金製造に携わり、技術の向上及び進歩発展
等に寄与した現場の技能者10名に対し、高橋記念賞を授与致しました。

(2) 労働安全優良事業場表彰

労働安全について優秀な成績をあげた4事業場に対し、表彰(特別賞：2事
業場、優良賞：2事業場)を行い、労働安全への努力を促進致しました。

1.4.2 会員の交流事業

(1) 懇親会

会員会社及び関係機関との親睦を深めるため、以下の懇親会を開催致しまし
た。

① 定時総会後の懇親パーティー

平成30年 5月16日(水) 霞山会館

② 7月の理事会後の懇親会

平成30年 7月18日(水) 屋形船 小松屋

③ 1月の理事会後の賀詞交歓会

平成31年 1月22日(火) 霞山会館

④ 会員懇親ゴルフ会

平成30年10月 6日(土) オークヒルズカントリークラブ

平成31年 3月23日(土) 茨木カンツリー倶楽部

(2) 懇談会

関連団体との連携を深めるため、以下の懇談会を開催致しました。

- ① 軽金属同友会との懇談会
平成30年10月 5日(金) 当協会会議室
- ② 経済産業省金属課長との懇談会
平成30年11月21日(水) 当協会会議室
- ③ 日本アルミドロス協議会との懇談会
平成31年 2月20日(水)当協会会議室

2. 会員の異動状況

(1) 会 員 数

期 首	正 会 員	25 社
	賛助会員	14 社
	計	39 社
期中入会	正 会 員	0 社
	賛助会員	1 社
	計	0 社
期中退会	正 会 員	1 社
	賛助会員	1 社
	計	2 社
期 末	正 会 員	24 社
	賛助会員	14 社
	計	38 社

(2) 退会正会員

平成30年5月 足立軽金属(株)

(3) 入会賛助会員

平成30年4月 阪和興業(株)

(4) 退会賛助会員

平成30年9月 三和築炉工業(株)

3. 会議の開催状況

定時総会、理事会、理事懇談会、会長・副会長会議、部会・委員会の開催回数は

次のとおりであります。

- (1) 定 時 総 会 1 回
- (2) 理 事 会 9 回
- (3) 会長・副会長会議 10 回
- (4) 部会・委員会
 - ① リサイクル部会 1 回
 - ② 総務委員会 2 回
 - ③ 技術委員会 10 回
- (4) 需給・原料委員会 1 回
- (5) 労務委員会 1 回

((一社)日本ダイカスト協会との合同委員会であるダイカスト用アルミニウム合金委員会 4 回を含む。)

3.1 第 44 回定時総会

開 催 日 平成 30 年 5 月 16 日

会 場 霞山会館

正会員総数 25 名

出席正会員 本人出席 14 名 } 25 名
委任状出席 11 名 }

議 案 6 件承認

- (1) 議事録署名人選任に関する件
- (2) 平成 29 年度事業報告並びに決算報告に関する件
- (3) 平成 30 年度入会金額並びに会費賦課基準案に関する件
- (4) 平成 30 年度事業計画案並びに収支予算案に関する件
- (5) 役員退職慰労金支給規程の改訂に関する件
- (6) 全役員任期満了に伴う改選に関する件

3.2 会長・副会長会議

- (1) 定時総会時 平成 30 年 5 月 16 日 霞山会館会議室

3.3 理事会及び会長・副会長会議

- (1) 第 359 回理事会 平成 30 年 4 月 11 日 当協会会議室

- (2) 第 360 回理事会 平成 30 年 6 月 20 日 当協会会議室
- (3) 第 361 回理事会 平成 30 年 7 月 18 日 当協会会議室
- (4) 第 362 回理事会 平成 30 年 9 月 19 日 当協会会議室
- (5) 第 363 回理事会 平成 30 年 10 月 5 日 当協会会議室
- (6) 第 364 回理事会 平成 30 年 11 月 21 日 当協会会議室
- (7) 第 365 回理事会 平成 31 年 1 月 22 日 霞山会館会議室
- (8) 第 366 回理事会 平成 31 年 2 月 20 日 当協会会議室
- (9) 第 367 回理事会 平成 31 年 3 月 22 日 大阪 YMCA 会館会議室

3.4 部会・委員会

(1) リサイクル部会

- ① 第 100 回リサイクル部会 平成 30 年 7 月 11 日 当協会会議室

(2) 総務委員会

- ① 第 113 回総務委員会 平成 30 年 4 月 10 日 当協会会議室
- ② 第 114 回総務委員会 平成 31 年 3 月 11 日 当協会会議室

(3) 技術委員会・ダイカスト用アルミニウム合金委員会

- ① 第 129 回 ダイカスト用 Al 合金委員会 平成 30 年 4 月 19 日 ダイカスト協会会議室
- ② 第 244 回 技 術 委 員 会 平成 30 年 5 月 24 日 当協会会議室
- ③ 第 239 回 技 術 委 員 会 平成 30 年 7 月 10 日 当協会会議室
- ④ 第 130 回 ダイカスト用 Al 合金委員会 平成 30 年 7 月 19 日 当協会会議室
- ⑤ 第 240 回 技 術 委 員 会 平成 30 年 9 月 4 日 当協会会議室
- ⑥ 第 241 回 技 術 委 員 会 平成 30 年 10 月 26 日 黒部市民会館会議室
- ⑦ 第 131 回 ダイカスト用 Al 合金委員会 平成 30 年 10 月 29 日 当協会会議室
- ⑧ 第 248 回 技 術 委 員 会 平成 31 年 1 月 29 日 当協会会議室
- ⑨ 第 132 回 ダイカスト用 Al 合金委員会 平成 31 年 1 月 30 日 ダイカスト協会会議室
- ⑩ 第 249 回 技 術 委 員 会 平成 31 年 3 月 5 日 当協会会議室

(4) 需給・原料委員会

- ① 第 9 回 需給・原料委員会 平成 31 年 3 月 4 日 当協会会議室

(5) 労務委員会

- ① 第 85 回 労務委員会 平成 31 年 3 月 14 日 当協会会議室

平成30年度正味財産増減計算書総括表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	A 30年度予算額	B 30年度決算額	A-B 増 減 (予算)	備 考
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取入会金	0	0	0	
②受取会費	37,668,000	37,693,000	△ 25,000	
正会員受取会費	35,148,000	35,098,000	50,000	
賛助会員受取会費	2,520,000	2,595,000	△ 75,000	
③事業収益	3,110,000	3,879,746	△ 769,746	
技術検定事業収益	2,060,000	2,905,000	△ 845,000	
研修会収益	0	0	0	
標準試料収益	370,000	240,000	130,000	
新年会収益	600,000	707,000	△ 107,000	
その他の事業収益	80,000	27,746	52,254	
④受取寄付金	150,000	150,000	0	
⑤雑収益	20,000	11,084	8,916	
経常収益計 (A)	40,948,000	41,733,830	△ 785,830	
(2) 経常費用			0	
事業費			0	
人件費	21,748,200	21,460,974	287,226	
給料手当	18,600,000	14,119,992	4,480,008	
法定福利費	2,800,000	2,117,792	682,208	
役員退職慰労金	0	4,485,800	△ 4,485,800	
役員退職慰労給付費用	0	458,300	△ 458,300	
退職給付費用	208,200	208,200	0	
福利厚生費	140,000	70,890	69,110	
一般経費	19,482,182	16,408,538	3,073,644	
旅費交通費	950,000	614,443	335,557	
通勤費	900,000	668,410	231,590	
通信運搬費	565,000	386,343	178,657	
印刷製本費	1,320,000	640,404	679,596	
リース料	1,090,000	972,018	117,982	
光熱水料費	570,000	523,186	46,814	
賃借料	4,601,594	4,601,594	0	
諸謝金	1,382,000	1,393,879	△ 11,879	
消耗品費	155,000	99,204	55,796	
会議費	990,000	843,096	146,904	
調査費	1,050,000	976,435	73,565	
外注費	2,070,000	1,066,641	1,003,359	
負担金	310,000	260,887	49,113	
総会費	1,030,000	1,039,202	△ 9,202	
正・副会長会議費	57,000	48,810	8,190	
理事会費	175,000	199,164	△ 24,164	
新年会費	1,050,000	1,063,054	△ 13,054	
総合対策費	210,000	80,519	129,481	
労働安全表彰費	196,000	188,026	7,974	
高橋記念賞費	183,480	163,454	20,026	
家賃更新料	0	0	0	
租税公課	70,000	70,000	0	
雑費	550,000	502,661	47,339	
減価償却費	7,108	7,108	0	
予備費	500,000	0	500,000	
経常費用計 (B)	41,730,382	37,869,512	3,860,870	
当期経常増減額 (A) - (B)	△ 782,382	3,864,318	△ 4,646,700	
当期一般正味財産増減額	△ 782,382	3,864,318	△ 4,646,700	
一般正味財産期首残高	26,647,460	26,647,460	0	
一般正味財産期末残高	25,865,078	30,511,778	△ 4,646,700	
II. 正味財産期末残高	25,865,078	30,511,778	△ 4,646,700	

貸借対照表

平成 31年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金預金	19,157,632	15,910,987	3,246,645
未収会費	0	33,000	△ 33,000
未収金	0	60,450	△ 60,450
前払費用	552,906	469,714	83,192
貯蔵品	899,095	274,752	624,343
流動資産合計	20,609,633	16,748,903	3,860,730
2. 固 定 資 産			
(1) 特定資産			
役員退職慰労引当預金	458,300	0	458,300
退職給付引当預金	6,757,850	6,549,650	208,200
変動準備積立預金	9,300,000	9,300,000	0
特定資産合計	16,516,150	15,849,650	666,500
(2) その他固定資産			
什器備品	5	5	0
建物附属設備	21,323	28,431	△ 7,108
電 話	4,000	4,000	0
敷 金	2,150,280	2,150,280	0
その他固定資産合計	2,175,608	2,182,716	△ 7,108
固定資産合計	18,691,758	18,032,366	659,392
資産合計	39,301,391	34,781,269	4,520,122
II. 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未払費用	709,463	717,159	△ 7,696
前受会費	864,000	867,000	△ 3,000
流動負債合計	1,573,463	1,584,159	△ 10,696
2. 固 定 負 債			
役員退職慰労引当金	458,300	0	458,300
退職給付引当金	6,757,850	6,549,650	208,200
固定負債合計	7,216,150	6,549,650	666,500
負債合計	8,789,613	8,133,809	655,804
III. 正 味 財 産 の 部			
1. 一般正味財産	30,511,778	26,647,460	3,864,318
正味財産合計	30,511,778	26,647,460	3,864,318
負債及び正味財産合計	39,301,391	34,781,269	4,520,122

財 産 目 録

平成 31 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額	金 額	金 額
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	73,329		
普通預金	17,276,616		
みずほ銀行上野支店	5,079,069		
三菱東京UFJ銀行上野中央支店	6,139,360		
三井住友銀行上野支店	5,470,572		
りそな銀行秋葉原支店	587,615		
郵便振替口座	439,765		
郵便局通常貯金	1,367,922		
(預金合計)	19,157,632		
未収会費	0		
未収金	0		
前払費用	552,906		
貯蔵品	899,095		
流動資産合計		20,609,633	
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
役員退職慰労引当預金	458,300		
三菱東京UFJ銀行上野中央支店	458,300		
退職給付引当預金	6,757,850		
三菱東京UFJ銀行上野中央支店	6,757,850		
変動準備積立預金	9,300,000		
みずほ銀行上野支店	3,000,000		
郵便局定額貯金	6,300,000		
特定資産合計	16,516,150		
(2) その他固定資産			
什器備品	5		
建物 附属設備	21,323		
事務所間仕切り	4,000		
電話	2,150,280		
敷金	2,175,608		
その他固定資産合計		18,691,758	
固定資産合計			
資産合計			39,301,391
II. 負債の部			
1. 流動負債			
(1) 未払費用	709,463		
労働安全表彰費 他	709,463		
(2) 前受会費	864,000		
流動負債合計		1,573,463	
2. 固定負債			
(1) 役員退職慰労引当金	458,300		
(2) 退職給付引当金	6,757,850		
固定負債合計		7,216,150	
負債合計			8,789,613
正味財産			30,511,778